



...for patient comfort.

2023年3月期 第2四半期決算説明会資料

決算発表 : 2022年11月2日

決算説明会 : 2022年11月4日

日本ライフライン株式会社

東証プライム市場 : 7575

01. 第2四半期決算報告

02. 販売ハイライト

03. 重要トピックス

04. 質疑応答

Appendix. 会社概要等

決算発表ごとにファクトシートを開示しております。(Excel/PDF)
当社ホームページ(<https://www.jll.co.jp/investors/>)からダウンロードできます。

01. 第2四半期決算報告

02. 販売ハイライト

03. 重要トピックス

04. 質疑応答

Appendix. 会社概要等

決算発表ごとにファクトシートを開示しております。(Excel/PDF)
当社ホームページ(<https://www.jll.co.jp/investors/>)からダウンロードできます。

第2四半期決算 連結サマリー (2Q 7~9月)

2Q 7~9月 損益ハイライト*1	売上高		営業利益		四半期純利益	
	12,519 百万円	YoY +1 (+0.0%)	2,412 百万円	YoY +49 (+2.1%)	1,756 百万円	YoY ▲133 (▲7.1%)
	✓ BA5型の感染拡大で症例数が一時的に大幅減。その中で、AF関連製品は底堅く、外科関連も堅調。保険償還価格の下落等のマイナス影響を吸収し、前年同期並みの売上高を確保 ✓ 在庫の廃棄損・評価損が前年同期比で大幅減、さらに自社製品比率の上昇による粗利率改善もあり営業増益 ✓ 前年同期に子会社の組織再編に伴う繰延税金資産の計上あり、四半期純利益は減益					

品目別売上高 ハイライト	リズムデバイス YoY ▲1.8%		EP/アブレーション YoY +3.7%	
	 (－) 保険償還価格の引き下げ (－) 市場競争激化		 (+) AF症例数の増加 (－) HeartLight X3の供給不足	
	外科関連 YoY +7.6%		消化器/PI*2 YoY ▲36.6%	
	 (+) 人工血管・AFX2の好調 (+) 新商品寄与		 (－) Orsiro*3の大幅減	

*1 金額百万円未満は切り捨て表示しています（以降のスライドも同様）

*2 前年までインターベンションと表記しておりましたが、当期より消化器/PIと改称しております

*3 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro(オシロ)」2022/6に独占販売契約を終了します

*用語集p37~に用語解説あり ⇒ 保険償還価格、アブレーション、AF、自社製品比率、HeartLight X3、人工血管、AFX2、Orsiro、PI

第2四半期決算 連結サマリー（2Q累計）

2Q累計 損益ハイライト	売上高		営業利益		四半期純利益	
	25,489 百万円	YoY +358 (+1.4%)	5,119 百万円	YoY +437 (+9.4%)	3,702 百万円	YoY +110 (+3.1%)
	✓ 保険償還価格の下落影響があったものの、1Qは新型コロナウイルス感染の沈静化で大幅増収、2QはBA5型の感染拡大で売上高は前年同期並み。2Q累計では増収 ✓ 自社製品比率の上昇(粗利率改善)、前期1Qに治験関連費用があったことにより、営業増益					
品目別売上高 ハイライト	リズムデバイス YoY ▲4.3%		EP/アブレーション YoY +5.5%			
	⬇️ (-) 保険償還価格の引き下げ (-) 市場競争激化		⬆️ (+) AF症例数の増加 (-) HeartLight X3の供給不足			
	外科関連 YoY +11.6%		消化器/PI*1 YoY ▲30.4%			
	⬆️ (+) 緊急症例等の増加 (+) 新商品寄与		⬇️ (-) Orsiroの大幅減			
ガイダンス	✓ 連結業績予想：変更なし 2022/5/11発表の通期業績予想を維持 ✓ 新型コロナの感染は、期初計画の前提に沿った状況が継続すると想定					

*1 前年までインターベンションと表記しておりましたが、当期より消化器/PIと改称しております

第2四半期実績 連結業績概況（2Q 7～9月）

✓ 前年同期比で増収(横ばい)、営業増益

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	7～9月	YoY	%	7～9月
売上高	12,519	+1	+0.0%	12,518
売上総利益	7,087	+75	+1.1%	7,012
構成比	56.6%			56.0%
販管費	4,675	+25	+0.5%	4,650
構成比	37.3%			37.1%
営業利益	2,412	+49	+2.1%	2,362
構成比	19.3%			18.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,756	▲133	▲7.1%	1,889
構成比	14.0%			15.1%
自社製品比率	53.2%			51.3%

売上高 YoY 0.0% 増収

- (+) AF関連製品底堅く、外科関連は堅調
- (-) BA5型の感染拡大による一時的な症例数減
- (-) 保険償還価格の引き下げ

営業利益 YoY 2.1% 増益

- (+) EP/アブレーションや外科関連の好調により自社製品比率が上昇し、粗利率改善
- (+) 在庫の廃棄損・評価損が前年同期比で大幅減

四半期純利益 YoY ▲7.1% 減益

- (-) 前年同期に子会社の組織再編に伴う繰延税金資産の計上あり(223M)

第2四半期実績 連結業績概況（2Q累計）

✓ 前年同期比で増収、営業増益

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	2Q累計	YoY	%	2Q累計
売上高	25,489	+358	+1.4%	25,130
売上総利益	14,546	+253	+1.8%	14,292
構成比	57.1%			56.9%
販管費	9,426	▲184	▲1.9%	9,610
構成比	37.0%			38.2%
営業利益	5,119	+437	+9.4%	4,681
構成比	20.1%			18.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,702	+110	+3.1%	3,591
構成比	14.5%			14.3%
自社製品比率	53.9%			51.3%

売上高 YoY 1.4% 増収

- (+) 新型コロナの沈静化に伴う症例数増(特に1Q)
- (-) 保険償還価格の引き下げ

営業利益 YoY 9.4% 増益

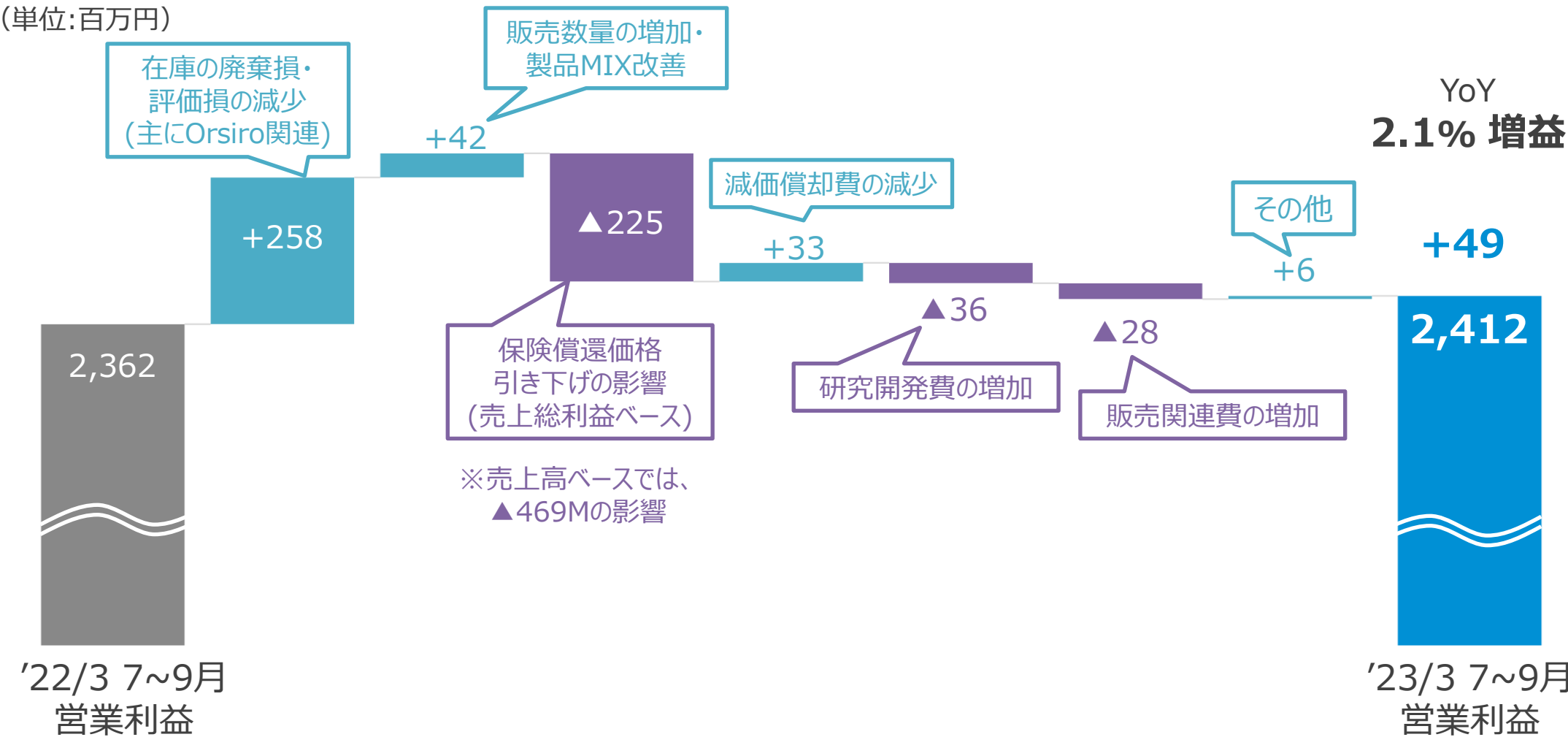
- (+) EP/アブレーションや外科関連の好調により自社製品比率が上昇し粗利率改善
- (+) 前期1Qに一時的な治験関連費用(290M)

四半期純利益 YoY 3.1% 増益

- (-) 前期1Qに事業譲渡益(116M)
- (-) 前期2Qに子会社の組織再編に伴う繰延税金資産の計上あり(223M)

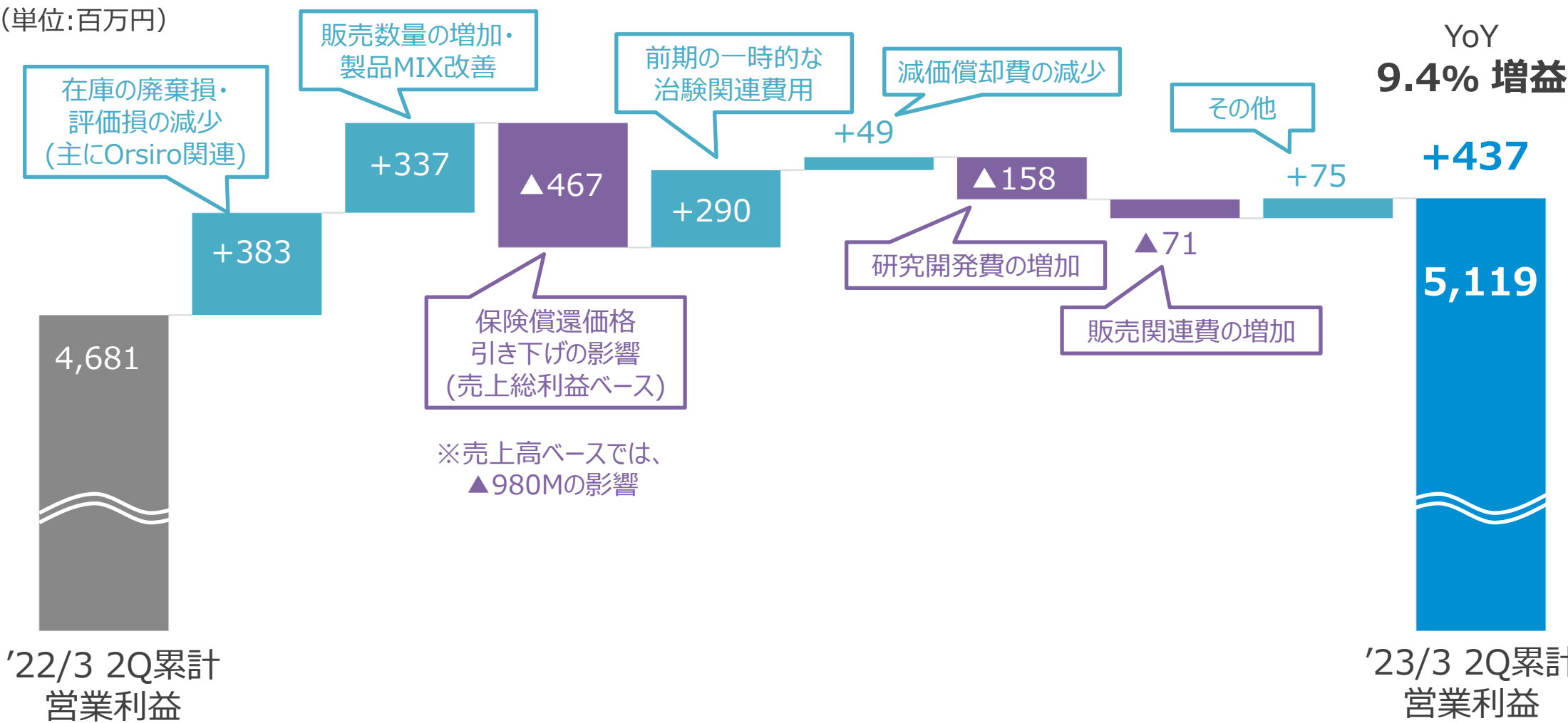
第2四半期実績 営業利益 増減分析(2Q 7~9月)

- ✓ 前年同期に計上したOrsiroの廃棄損・評価損等が大幅減となった影響が大きく、保険償還価格の下落影響をカバーして増益



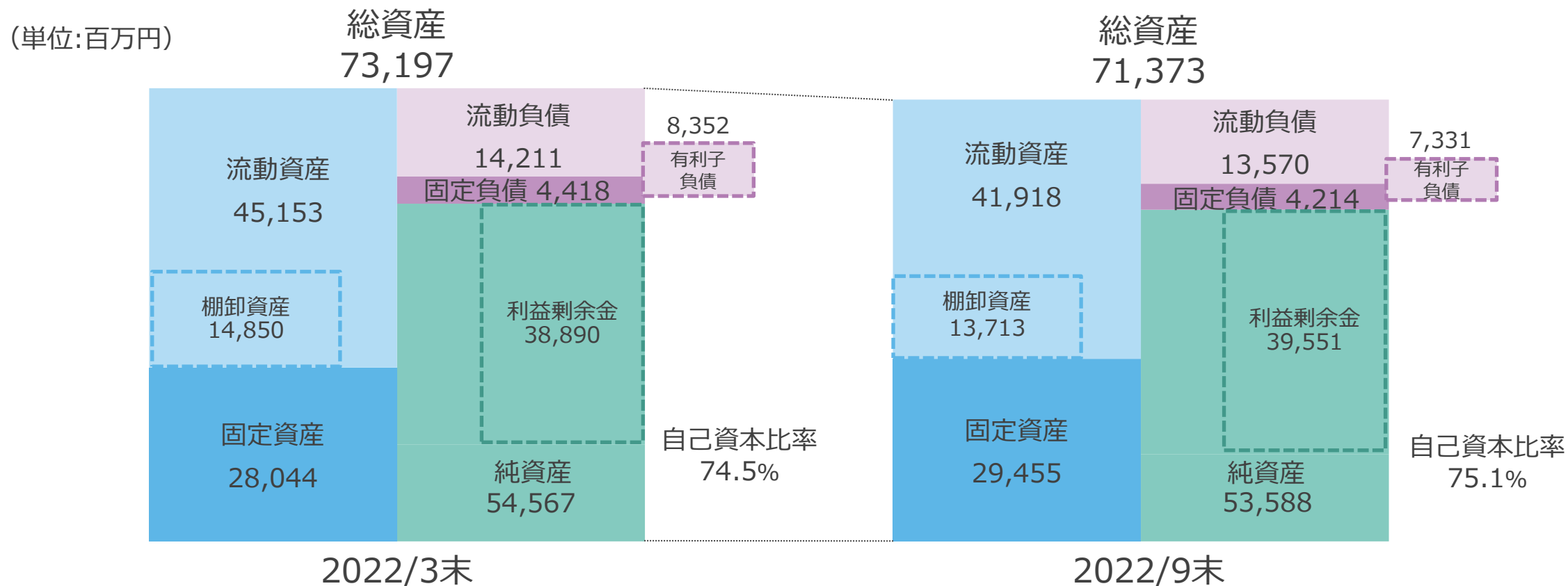
第2四半期実績 営業利益 増減分析(2Q累計)

- ✓ 販売数量の増加や製品MIXの改善等で、保険償還価格の下落の影響をカバーし増益
- ✓ 一時的要因として、前年同期に発生した治験関連費用あり



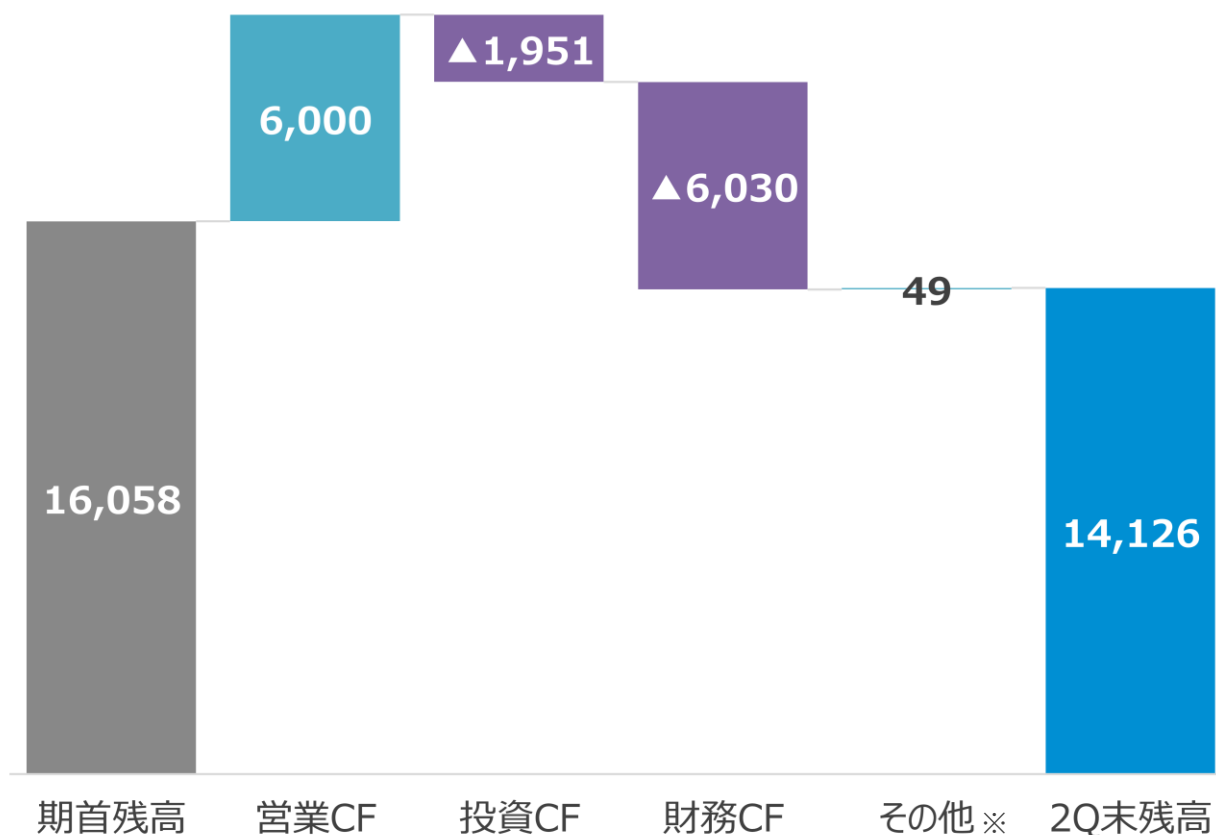
第2四半期 連結貸借対照表

- ✓ 流動資産： 法人税等及び配当金の支払により現金及び預金が減少
棚卸資産はOrsiro等の契約終了品で在庫の消化が進み減少
- ✓ 固定資産： 海外取引先への貸付や国内再生医療ベンチャーへの追加出資等により増加
- ✓ 純資産： 自己株式の取得により減少



✓ 2Q末時点で、現金及び現金同等物は、期首残高から▲1,932百万円の減少

(単位:百万円)



※ 現金及び現金同等物に係る換算差額

■ 営業CF

【増 加】

- 税金等調整前四半期純利益 +5,109
- 棚卸資産の減少額 +1,156
- 減価償却費 +724

【減 少】

- 法人税等の支払額 ▲1,354
- 売上債権の増加額 ▲201

■ 投資CF

【減 少】

- 無形固定資産の取得による支出 ▲814
- 長期貸付による支出 ▲525
- 有形固定資産の取得による支出 ▲319
- 投資有価証券の取得による支出 ▲314

■ 財務CF

【減 少】

- 配当金の支払額 ▲3,038
- 自己株式の取得による支出 ▲1,948
- 長期借入金の返済による支出 ▲642

01. 第2四半期決算報告

02. 販売ハイライト

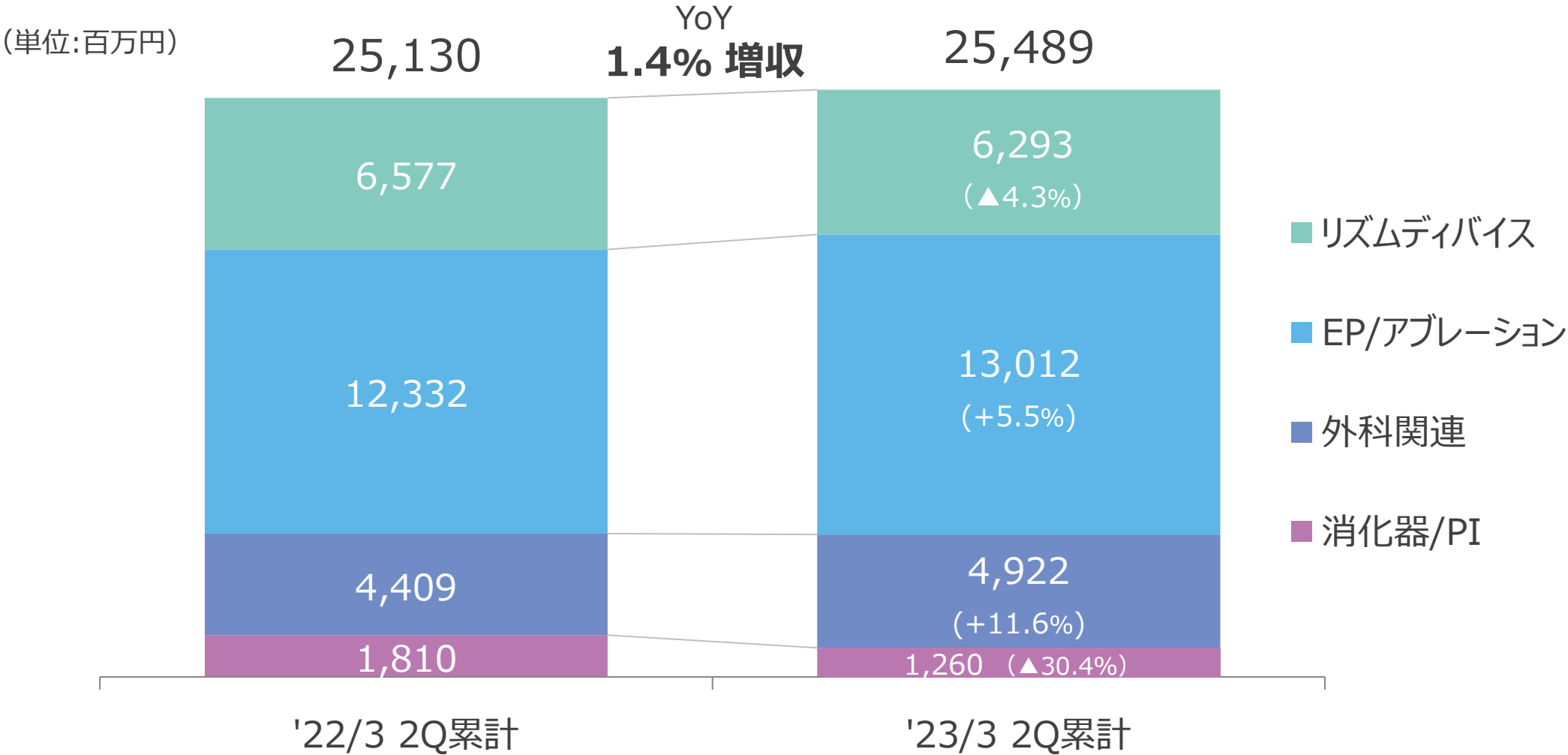
03. 重要トピックス

04. 質疑応答

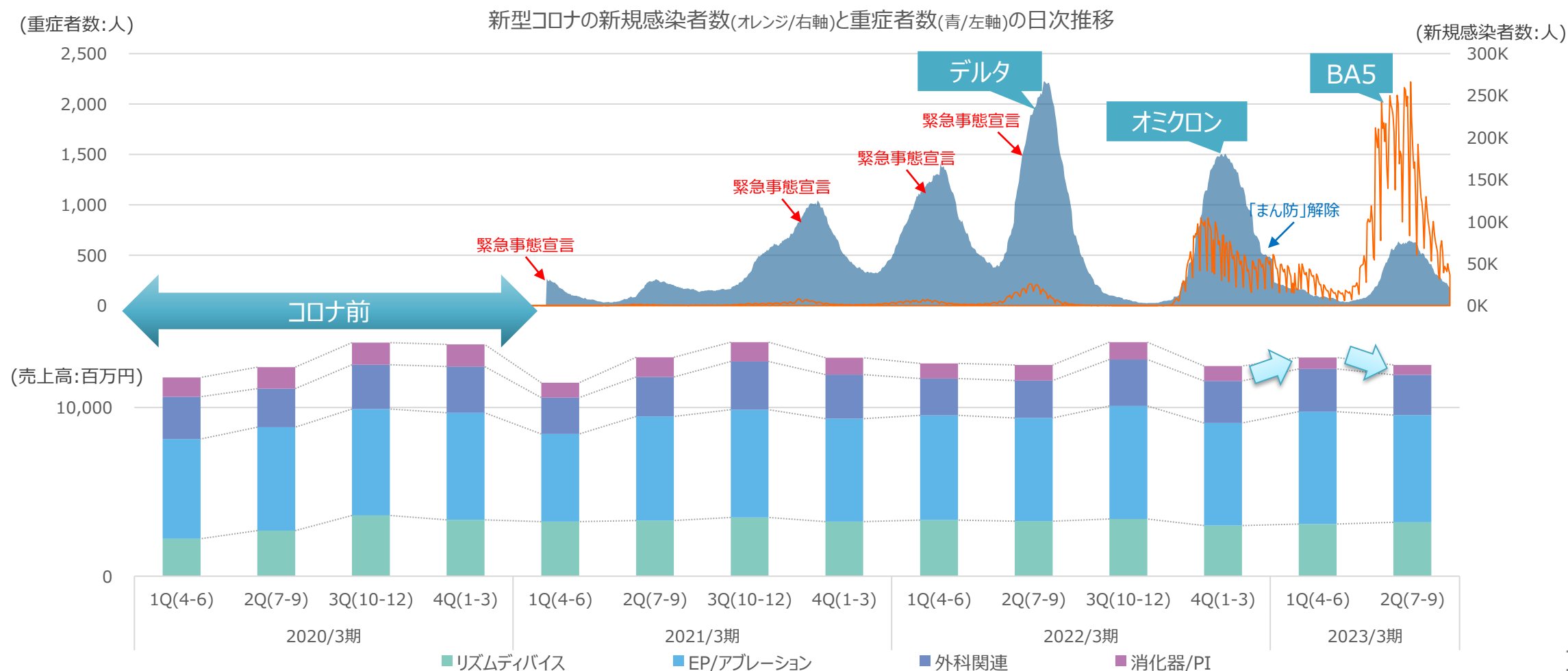
Appendix. 会社概要等

決算発表ごとにファクトシートを開示しております。(Excel/PDF)
当社ホームページ(<https://www.jll.co.jp/investors/>)からダウンロードできます。

✓ EP/アブレーションや外科関連の自社製品が好調に推移し、保険償還価格の下落や消化器/PIのマイナス影響をカバーし増収



- ✓ 1Q：オミクロン型の感染が一服し、行動制限緩和。症例数の大幅増とともに売上増加
- ✓ 2Q：BA5型の感染が急拡大し、7月下旬～8月にかけて症例数が大幅減。9月には沈静化



ペースメーカー、S-ICDは引き続き苦戦

- ① 保険償還価格の引き下げや競争激化の影響を受ける
- ② T-ICDは1Qに引き続き交換症例のシェアを伸ばす。S-ICDは新規受注がやや軟調
- ③ AEDは2Qで販売・レンタルが伸長

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	2Q累計	YoY	%	2Q累計
① ペースメーカー関連	2,530	▲485	▲16.1%	3,016
② ICD関連	3,595	+201	+5.9%	3,394
③ その他*1	167	+1	+0.7%	166
リズムデバイス 計	6,293	▲283	▲4.3%	6,577

2023/3期			2022/3期
7~9月	YoY	%	7~9月
1,261	▲233	▲15.6%	1,495
1,853	+165	+9.8%	1,687
84	+10	+13.8%	74
3,199	▲57	▲1.8%	3,257

*1 AEDや舌下神経電気刺激装置を含む

新型コロナの影響を受けつつも、AF症例数は底堅く、増加基調が継続

- ① AF症例数は2Q累計で前年同期比**8~9%増**と推定。BeeAT、EsophastarなどAF関連製品が好調
- ② HeartLight X3は、部材不足による供給遅延が発生。計画比でも大幅に未達
- ③ スティーラブルシースは大幅な増収、競合他社の影響を受けたRF Needleの減収をカバー

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	2Q累計	YoY	%	2Q累計
① EPカテーテル	9,780	+806	+9.0%	8,974
② ABLカテーテル	496	▲60	▲10.9%	556
③ その他*1	2,735	▲66	▲2.4%	2,801
EP/アブレーション 計	13,012	+679	+5.5%	12,332

2023/3期			2022/3期
7~9月	YoY	%	7~9月
4,813	+342	+7.7%	4,471
174	▲108	▲38.4%	283
1,360	▲5	▲0.4%	1,366
6,349	+228	+3.7%	6,120

*1 RF Needleやスティーラブルシースを含む

自社製品の人工血管の好調に加え、前期発売の2つの新商品も寄与

- ① 人工血管は堅調。オープンスtentグラフトは1Qは好調も2Qで弱含み、前期の2Q比較では減収
腹部用stentグラフトは、新商品の「Alto」との相乗効果で売上が拡大
- ② 新商品の塞栓用コイルは、1Qから腹部に加え脳血管領域向けにも販売、右肩上がりの成長を継続
前期は事業譲渡した血液浄化関連の売上137Mあり

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	2Q累計	YoY	%	2Q累計
① 人工血管関連	4,837	+614	+14.6%	4,222
② その他*1	85	▲101	▲54.3%	186
外科関連 計	4,922	+513	+11.6%	4,409

2023/3期			2022/3期
7~9月	YoY	%	7~9月
2,338	+265	+12.8%	2,072
48	▲97	▲66.7%	146
2,387	+168	+7.6%	2,219

*1 血液浄化関連、人工肺関連、生体弁、塞栓用コイルを含む



PIから消化器領域への事業構造の転換を急ピッチで進める

- ① 大腸用、胃・十二指腸用ステントは好調。今後、改良モデルを投入し、新規施設拡大へ
肝臓ニードルも右肩上がりの成長を継続
胆膵内視鏡分野への本格参入を控え、営業トレーニングや開発、生産準備が進捗
- ② 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」の独占販売契約が6月で終了、今期の追加仕入はなし
7月以降、在庫販売は継続するものの、大幅な減収

(単位:百万円)	2023/3期			2022/3期
	2Q累計	YoY	%	2Q累計
① 消化器関連	285	+98	+52.3%	187
② PI関連*1	974	▲648	▲40.0%	1,623
消化器/PI 計	1,260	▲550	▲30.4%	1,810

2023/3期			2022/3期
7~9月	YoY	%	7~9月
150	+51	+51.2%	99
433	▲387	▲47.2%	820
583	▲336	▲36.6%	920

*1 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」のほか、ガイドワイヤー、バルーンカテーテル、血管内圧測定用センサ付ガイドワイヤー、心房中隔欠損閉鎖器具などを含む

01. 第2四半期決算報告

02. 販売ハイライト

03. 重要トピックス

04. 質疑応答

Appendix. 会社概要等

決算発表ごとにファクトシートを開示しております。(Excel/PDF)
当社ホームページ(<https://www.jll.co.jp/investors/>)からダウンロードできます。

- I. 「RF Needle」の今後の販売について (2022/9/30発表)
- II. 脳血管領域への新規参入 (2022/8/22発表)
- III. 胆膵内視鏡分野への本格参入 (2022/10/12発表)
- IV. 中期経営計画の見直し

I. 「RF Needle」の今後の販売について (2022/9/30発表)

II. 脳血管領域への新規参入 (2022/8/22発表)

III. 胆膵内視鏡分野への本格参入 (2022/10/12発表)

IV. 中期経営計画の見直し

BSJ社との販売パートナーシップのもと、今後も取り扱いは継続

- ✓ 2013年4月：Baylis Medical社製心房中隔穿刺針「RF Needle」を国内で独占販売開始
- ✓ 2022年2月：BSC社*¹がBaylis Medical社を買収、今後の販売についてBSJ社*²と協議開始
- ✓ 2022年9月：BSJ社と販売パートナーシップ契約を締結することに合意

当社独占販売は'23/3月末で終了し、以降はBSJ社との協業体制へ



販売パートナーシップの概要

- ✓ 医療施設を当社の協業施設とBSJ社施設に分ける
- ✓ 当社は協業施設でRF Needleの販売支援を実施（販売はBSJ社）
- ✓ 当社は協業施設における販売実績に応じて、BSJ社より販売手数料を受領

*1 Boston Scientific Corporation (USA), *2 Boston Scientific Japan

I. 「RF Needle」の今後の販売について (2022/9/30発表)

II. 脳血管領域への新規参入 (2022/8/22発表)

III. 胆膵内視鏡分野への本格参入 (2022/10/12発表)

IV. 中期経営計画の見直し

- ✓ Wallaby Medical社と脳血管内治療デバイス11品目について、10年間の独占販売契約を締結

発売時期	2021/12 塞栓用コイル(発売済) 2024/3期～2028/3期
品目区分	外科関連/仕入商品 Wallaby Medical (中国) phenox (ドイツ)
製品概要	脳血管内治療デバイス11品目 (10年間の独占販売契約)
対象となる 症例・疾患	脳血管内治療 3万例/年*1 ・ 急性期脳梗塞 ・ 脳動脈瘤

*1 急性期脳梗塞・脳動脈瘤の症例数の合計。頸動脈狭窄症へのステント留置術などを除く



- ・ 脳血管内治療デバイスに特化
- ・ 塞栓用コイル、血栓吸引カテーテル
- ・ 販売実績30か国以上

2022年4月
買収

phenox

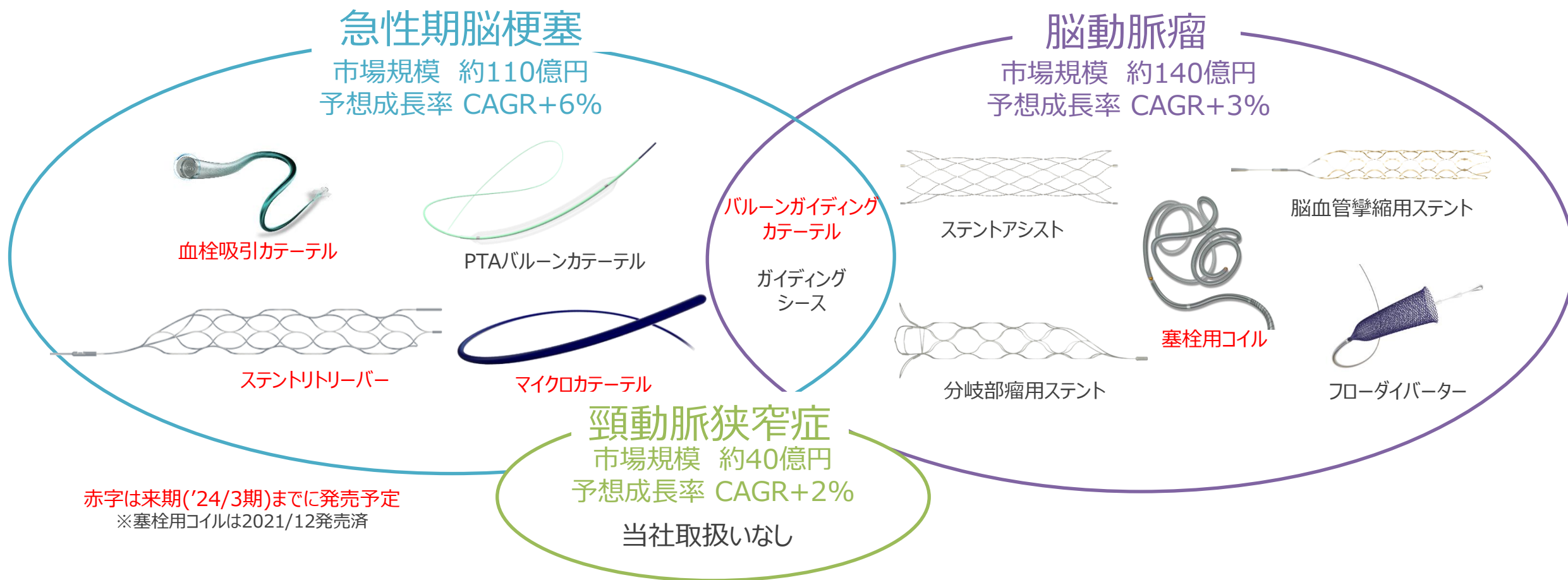
- ・ 脳血管内治療デバイスに特化
- ・ フローダイバーターなど新規性の高い商品を含む幅広いランナップ
- ・ 販売実績45か国以上

長期
独占
販売
契約

グローバルな販売実績を
有する2社の脳血管関
連商品をすべてカバー

JL Japan Lifeline

- ✓ 脳血管内治療の市場は大きく「急性期脳梗塞」、「脳動脈瘤」、「頸動脈狭窄症」に分かれる
- ✓ 市場全体は2022年で約290億円。今後、**CAGR+4～5%**の成長を予想



*1 市場規模や成長率はR&D2022及び自社調査をもとに推計

*用語集p37～に用語解説あり ⇒ 脳血管内治療、急性期脳梗塞、脳動脈瘤、頸動脈狭窄症、フローダイバーター

✓ 参入企業が多い中、後発ながら5年以内に業界内随一のラインナップを揃える見通し

品 目	急性期脳梗塞						脳動脈瘤				
	血栓吸引カテーテル	ステントリリーバー	バルーンガイドングカテーテル	マイクロカテーテル	ガイドングシース	PTAバルーンカテーテル	塞栓用コイル	ステントアシスト	フローダイバーター	分岐部瘤用ステント	脳血管攣縮用ステント
当 社	○ '24/3期 発売予定	○ '24/3期 発売予定	○ '24/3期 発売予定	○ '24/3期 発売予定	○ '25/3期 以降 発売予定	○ '25/3期 以降 発売予定	○ '21/12*1 発売済	○ '27/3期 以降 発売予定	○ '28/3期 以降 発売予定	○ '27/3期 以降 発売予定	○ '27/3期 以降 発売予定
海外A社	○	○	○	○		○	○	○	○		
国内B社	○	○		○			○	○	○	○	
海外C社		○		○			○	○		○	
海外D社	○	○	○	○			○		○		
国内E社				○			○				
国内F社							○				
国内G社	○						○				

*1 販売開始時は腹部領域向けに限定販売。2022/4以降、脳血管領域向けにも販売開始

I. 「RF Needle」の今後の販売について (2022/9/30発表)

II. 脳血管領域への新規参入 (2022/8/22発表)

III. 胆膵内視鏡分野への本格参入 (2022/10/12発表)

IV. 中期経営計画の見直し

主要学会展示を皮切りに本格参入へ

- ✓ 学会名：第30回 JDDW (日本消化器関連学会週間)
- ✓ 開催地：福岡
- ✓ 開催日：2022年10月27～30日

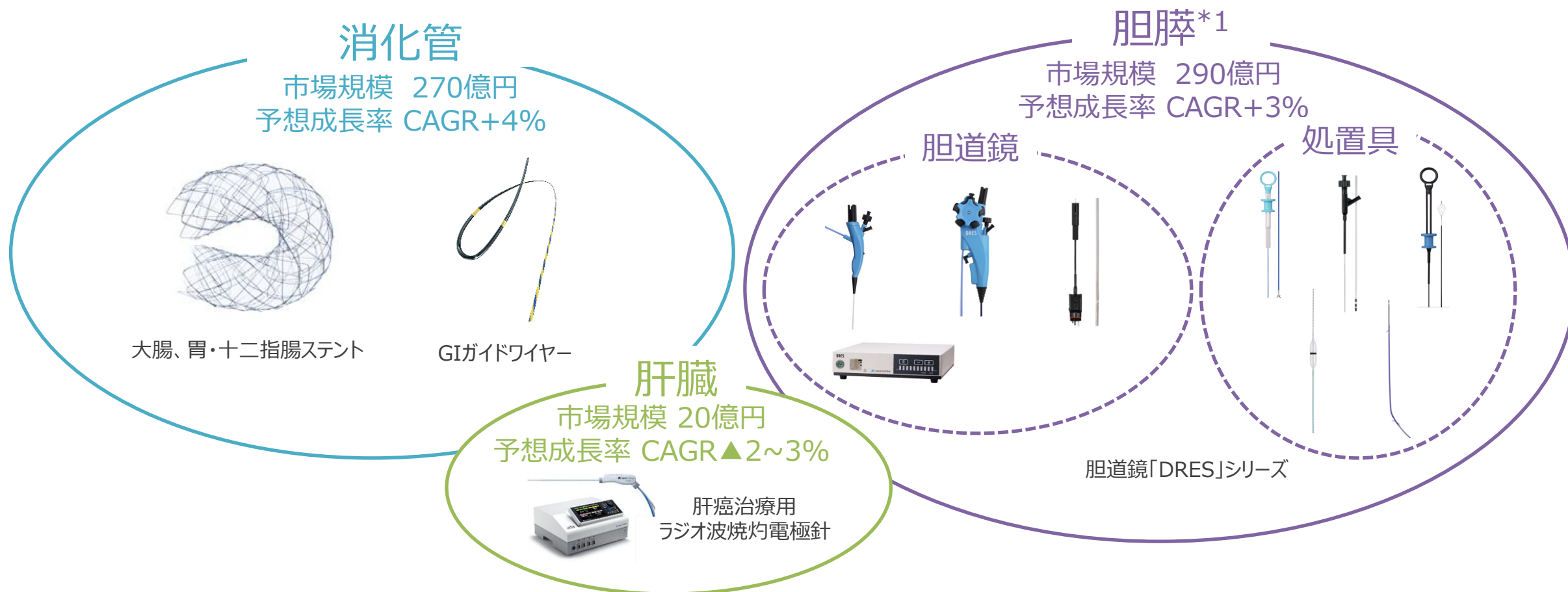


JDDWの展示・DRESハンズオンの様子



自社開催シンポジウム「国産消化管ステント」の様子

- ✓ 消化器領域の市場は大きく「消化管」、「胆膵」、「肝臓」領域に分かれる
- ✓ 市場全体は2022年予測で約580億円、**CAGR+3~4%**であり今後も安定的に成長している市場



*1 胆道鏡を含む 市場規模や成長率はR&D2022及び自社調査をもとに推計

医療現場のアンメットニーズ①

- 確実な検査・処置を行うために胆道鏡にはより大きな処置具をセットしたい…

解決

高機能カテーテルの製造技術で大口径チャンネルを実現

- ✓ 心腔内除細動カテーテル「BeeAT」に用いられているマルチルーメンシャフト構造を応用
- ✓ 処置具の選択肢を広げる

医療現場のアンメットニーズ②

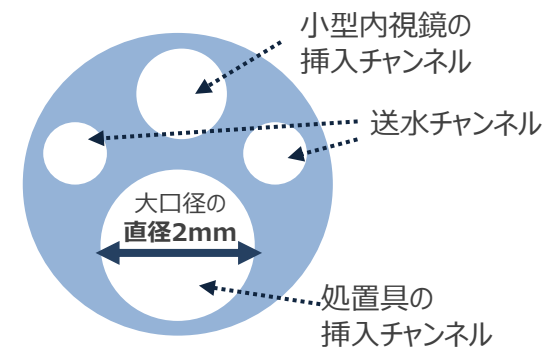
- 胆道鏡は**非常に高価で、現状医療施設が持ち出しで負担**。高価なため使用制限も…

解決

小型内視鏡をリユース可能に

- ✓ 競合品は、シースと小型内視鏡が一体型の単回使用
- ✓ 「DRES」はこれを**非一体型**とすることで、高価な小型内視鏡を約10回使用可、**医療施設のコスト負担を大幅に軽減**

独自の技術と設計コンセプトから生まれた胆道鏡で
ERCPに関連する医療課題を解決



胆道鏡「DRES」
断面イメージ

DRES
Cholangioscopy System



胆道鏡及び胆膵処置具の当社ラインナップ

- ✓ 用途に応じて「着せ替え」可能な胆道鏡「DRES」をプラットフォームに、独自の胆膵処置具をラインナップ
- ✓ 計9品目の発売を予定。さらに複数品目の製品開発が進行中

	胆 道 鏡				胆 膵 処 置 具				
	DRES スリムスコープ (固定)	DRES スコープ (可変)	DRES コンソール	DRES CMOSカメラ (小型内視鏡)	DRES ERCPカニューラ	DRES 採石バスケット	DRES 生検鉗子	RIGEL 胆管拡張 バルーン	REGULUS 胆管用チューブ ステント
製品 イメージ									
使用用途	シャフトが曲がらない胆道鏡であり、主に検査で使用	シャフトが曲がる胆道鏡であり、主に治療で使用	胆道鏡と接続して画像出力する本体	DRESに挿入し胆管内を見る	DRESに挿入し造影剤を注入し造影を行う	DRESに挿入し結石を除去する	DRESに挿入し生体組織を採取する	閉塞した十二指腸乳頭および胆管をバルーンで拡張する	胆石や腫瘍により閉塞した胆管を広げるステント
発売時期	2022/11 発売	2022/11 発売	2022/11 発売	2022/11 発売	2022/11 発売	2023/3期 4Q発売予定	2022/11 発売	2022/11 発売	2022/8 発売済

I. 「RF Needle」の今後の販売について (2022/9/30発表)

II. 脳血管領域への新規参入 (2022/8/22発表)

III. 胆膵内視鏡分野への本格参入 (2022/10/12発表)

IV. 中期経営計画の見直し

- ✓ 現行の計画は、新型コロナの影響など、前提条件が実態から大幅に乖離
- ✓ OrsiroやRF Needleの販売契約が終了する一方、**脳血管領域や胆膵内視鏡分野の新事業がスタート**
- ✓ 実態に即した最新の状況を反映するため、**2023年5月に中期経営計画を見直す予定**

現行の中期経営計画

(2021/3期~2025/3期)

2020/11 開示

見直し

新・中期経営計画

2023/5 開示予定

01. 第2四半期決算報告

02. 販売ハイライト

03. 重要トピックス

04. 質疑応答

Appendix. 会社概要等

決算発表ごとにファクトシートを開示しております。(Excel/PDF)
当社ホームページ(<https://www.jll.co.jp/investors/>)からダウンロードできます。

WEB上でご質問の方 ※音声に不具合がある場合は、テキスト形式でご質問ください。

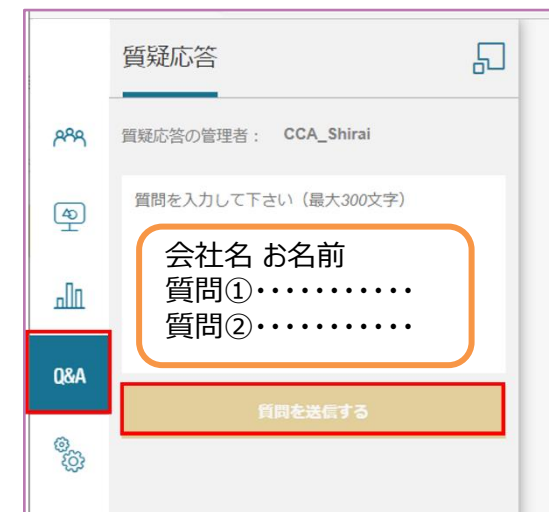
- 画面左側「QA」タブを選択し、「挙手する」ボタンを選択するか、メニューバーの「挙手アイコン」を選択してください。C-Meetingから「確認されました」の音声がかかります。
- 司会者がお名前をお呼びしましたら、右図の画面に自動で切り替わりますので、ビデオのオン・オフを選択し、「続ける」を選択してください。
- 質問を取り消す場合は、同じ画面左側「QA」タブを選択し、「挙手を取り下げる」を選択するか、メニューバーの「挙手取り下げアイコン」を選択してください。

(テキスト形式)

- 画面左側「QA」タブを選択し、質問を右図のようにテキストで入力の上、送信してください。
- 司会者が質問を選択するまでは、記載いただいたご質問内容の編集が可能です。また、途中でご質問を取り消す場合は、「質問を削除する」を選択してください。

電話でご質問の方

- ご質問のある方は、電話機のコメ印の後に 数字の「 1 」を押してください。
- 司会者がお名前をお呼びしましたら、会社名・お名前の後にご質問をお願いいたします。
- 途中でご質問を取り消す場合は、コメ印の後に 数字の「 2 」を押してください。



01. 第2四半期決算報告

02. 販売ハイライト

03. 重要トピックス

04. 質疑応答

Appendix. 会社概要等

決算発表ごとにファクトシートを開示しております。(Excel/PDF)
当社ホームページ(<https://www.jll.co.jp/investors/>)からダウンロードできます。

ページ	用語・略称	説明
4	保険償還価格	公的医療保険制度において医療機関が診療報酬として保険機関(一部患者の負担)に請求できる代金のうち、医療材料として請求できる材料(特定保険医療材料)の請求価格のこと。一般に、販売代理店から医療機関への医療機器の納入価格は、保険償還価格に一定の掛率を乗じた額であり、保険償還価格と納入価格の差額が医療機関の利益となる。
"	アブレーション	不整脈の根治を目指す治療法のひとつ。心臓内で不整脈の原因となっている異常な電気回路に対して、心筋焼灼(アブレーション)用のカテーテルを用いて焼灼または冷凍凝固を行い、正常な状態に戻す。アブレーション治療の対象として、最も多いのが心房細動であり、全体の約8割を占める。正式には「経皮的カテーテル心筋焼灼術」
"	AF	Atrial Fibrillation(心房細動) 心房と呼ばれる心臓内の部屋が小刻みに震えてけいれんする心臓の病気。心房細動は心臓内に血栓(血の固まり)が発生する要因とされ、致死性の心原性脳梗塞を発症するリスクを高める。心房細動のアブレーション治療の症例数を「AF症例数」と表記する。AF症例数は当社の主力事業であるEP/アブレーションの業績と相関性が非常に高い。年間症例数は2022年現在で約9万例だが、国内の潜在的な患者母数は大きく、約180万人とも言われる。
"	自社製品比率	売上高に占める自社製品の比率。自社製品の粗利率は約60~70%。(仕入商品は約30~40%) 自社製品比率の上昇は、売上総利益率の上昇要因となる。(製品MIXの良化)
"	HeartLight HeartLight X3	CardioFocus社製内視鏡レーザーアブレーションカテーテル。同社製のHeartLightは世界で唯一のレーザーエネルギーと内視鏡を用いたアブレーションシステムであり、当社は2019年からHeartLightの国内独占販売を開始。2021年には次世代品であるHeartLight X3を導入。【品目区分: EP/アブレーション⇒アブレーションカテーテル】
"	人工血管	動脈瘤や狭窄など病変のある血管を外科手術により、ポリエステルやフッ素樹脂などの繊維で作られた人工血管に置き換える。当社は自社製品で「J Graft」ブランドを展開。【品目区分: 外科関連⇒人工血管関連】
"	AFX2	Endologix社製腹部用ステントグラフトシステム。開胸手術を行わず、カテーテルを用いて経皮的に腹部大動脈瘤を治療することが可能。【品目区分: 外科関連⇒人工血管関連】
"	PI	Percutaneous Intervention(経皮的インターベンション)に関連する医療機器を取り扱う事業領域。カテーテルを経皮的に血管に挿入し、ガイドワイヤやステントなどを使って心筋梗塞等の治療を行う。開胸手術と比べて患者様への身体的負担が少ない。
"	Orsiro	Biotronik社製薬剤溶出型冠動脈ステント。PI関連において心筋梗塞等の治療に使われる医療機器。冠動脈へ留置後、薬剤が徐々に血管内に溶け出し、血管の再狭窄を防ぐ。当社の独占販売契約は2022年6月に終了。【品目区分: 消化器/PI⇒PI関連】

ページ	用語・略称	説明
15	ペースメーカ	植込み型の医療機器。心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保つ【品目区分：リズムデバイス⇒ペースメーカ関連】
〃	T-ICD	Transvenous Implantable Cardioverter Defibrillator（経静脈的植込み型除細動器）心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与え、拍動を正常な状態に戻す【品目区分：リズムデバイス⇒ICD関連】
〃	S-ICD	Subcutaneous Implantable Cardioverter Defibrillator（完全皮下植込み型除細動器）従来のICDは静脈を介し心臓内にリードを留置するのに対し、S-ICDは全てのシステムを皮下に植込むことで血管内や心臓へ異物が留置されないため、重篤な感染リスクが低減される。【品目区分：リズムデバイス⇒ICD関連】
〃	AED	Automated External Defibrillator（自動体外式除細動器）心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態になった心臓に対して電気ショックを与え、正常なリズムに戻す。【品目区分：リズムデバイス⇒その他】
16	BeeAT	心腔内除細動カテーテル。（自社製品・オンリーワン）アブレーション治療の術中に発生した心房細動を止めるために用いられる電極付きカテーテル。従来の体外式除細動と異なり、心腔内で除細動を行うことで少ないエネルギーで除細動を行うことが可能であり、患者様の身体的負担を軽減する。【品目区分：EP/アブレーション⇒EPカテーテル】
〃	Esophastar	食道温モニタリングカテーテル。（自社製品）アブレーション治療の術中に食道内の温度が上がりすぎないように監視するために使われる。食道は心臓と隣接しており、食道内の温度が上がりすぎると食道関連の合併症を引き起こす可能性がある。【品目区分：EP/アブレーション⇒EPカテーテル】
〃	ステーラブルシース	不整脈を治療するためのアブレーションカテーテルを、適切な部位まで誘導及びサポートするために使用される可変型のシース。（自社製品）Lefteelは、操作性の良さが評価され発売以来シェアを伸ばしている。【品目区分：EP/アブレーション⇒その他】
〃	RF Needle	Baylis Medical社製心房中隔穿刺針。アブレーション治療などを行う際に左右の心房を隔てている「膜」に高周波で通電することで孔を空け、カテーテルなどの医療機器が病変部にアクセスするのをサポートする。【品目区分：EP/アブレーション⇒その他】

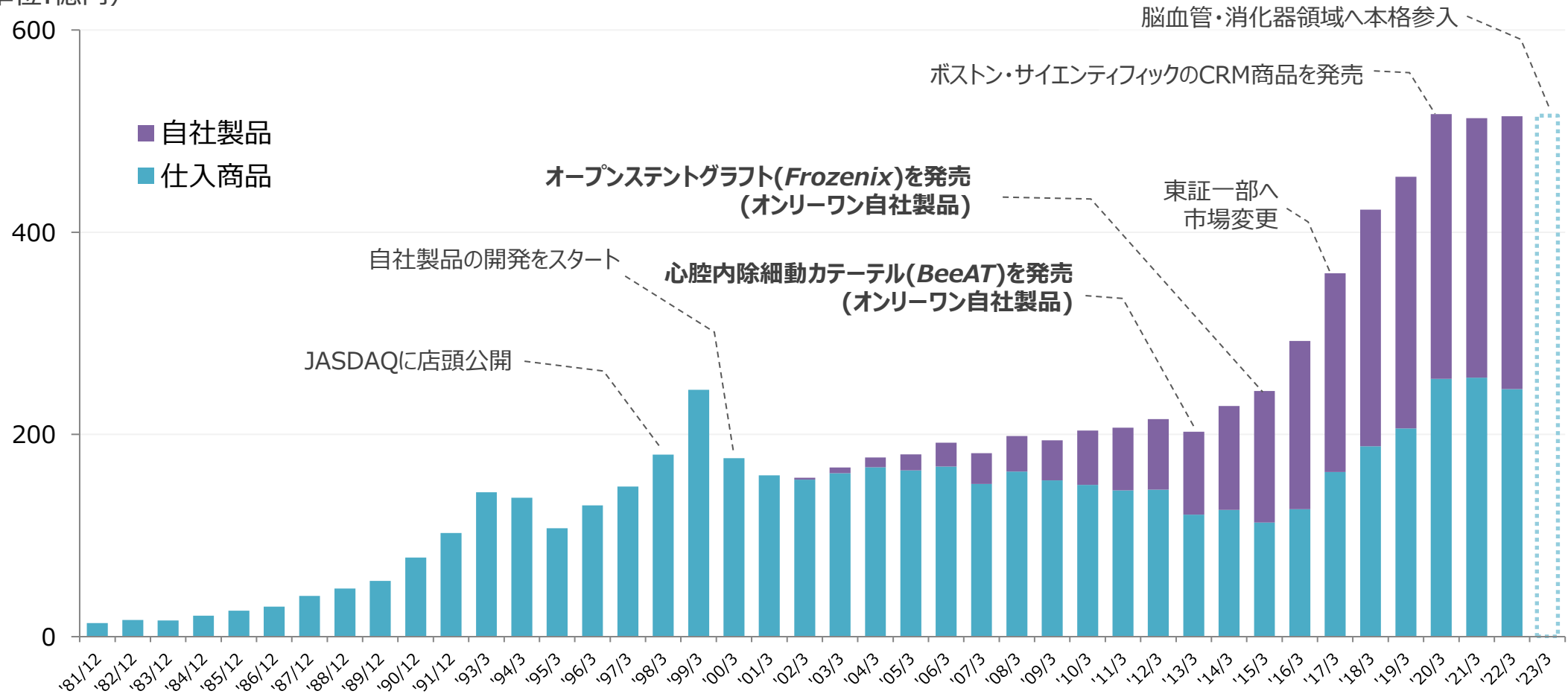
ページ	用語・略称	説明
17	オープンスtentグラフト	大動脈瘤や大動脈解離などの胸部大動脈疾患を治療する医療機器。（自社製品・オンリーワン）製品名「Frozenix（フロゼニクス）」開胸手術で用いられるが、従来の人工血管を用いた手技に比べ、末梢側がstent構造となっているため、低侵襲で短時間の治療を可能にする。【品目区分：外科関連⇒人工血管関連】
〃	腹部用stentグラフト	動脈瘤などの治療に使用される、stentという金属性の網状の筒に人工布を縫い付けた人工血管。カテーテルに収納し、患部まで挿入して動脈内で広げ、血管を補強する。当社はEndologix社製のAFX2やAltoを販売。
〃	塞栓用コイル	脳動脈瘤の血管内治療に用いられる細い針金状の医療機器。脳動脈瘤内にコイルを詰めることで瘤への血液の流入を遮断し、破裂（くも膜下出血）を防ぐ。当社はWallaby Medical社製のAvenirを販売。【品目区分：外科関連⇒その他】
18	肝癌ニードル	肝臓にできた悪性腫瘍を高周波の熱エネルギーで焼く治療に用いられる医療機器。（自社製品）超音波で病変を観察しながら、皮膚を通して電極針を腫瘍の中心に挿入して通電し、針の周囲に熱を発生させることで腫瘍を壊死させる。製品名「arfa」【品目区分：消化器/PI⇒消化器関連】
〃	消化器領域	消化器関連の疾患は、消化管、胆膵、肝臓の3分野に大きく分けられる。これらをすべてカバーする事業領域として「消化器領域」と呼称する。一般に、消化器内科の医師は、3分野のいずれかでエキスパートとなる。消化管は、口腔、食道、胃、小腸（十二指腸・空腸・回腸）、大腸（盲腸、結腸、直腸）、肛門から構成される。胆膵は、胆のう・胆管・膵臓から構成される。
〃	胆膵内視鏡分野	胆膵関連疾患の検査・治療（ERCP）で用いられる小型内視鏡（胆道鏡）と、周辺処置具からなる医療機器の市場を便宜上「胆膵内視鏡分野」と呼称する。
25	脳血管内治療	頭蓋内や頸部の病変を、直接切開せずにカテーテルを用いて治療する方法の総称
〃	（急性期）脳梗塞	脳の血管が詰まったり、細くなったりして血流が途絶え、十分な酸素やエネルギーが供給されず脳細胞が壊死してしまう疾患
〃	脳動脈瘤	脳血管の一部が風船状に膨らんだもので、破裂するとくも膜下出血となる疾患
〃	フローダイバーター	脳動脈瘤の治療に用いられる細かいメッシュ状のstent。動脈瘤へ向かっていた血流を本来の流れの向きに修正することで、動脈瘤に入る血流を減少させ、瘤内の血液を停滞させることで血栓化を促す。血栓化し完全に閉塞した脳動脈瘤は破裂のリスクがほぼなくなる。

ページ	用語・略称	説明
25	頸動脈狭窄症	頸部の頸動脈分岐部の動脈硬化性により脳へ走行する血管（内頸動脈）が狭窄する疾患
29	CT	CT（Computed Tomography:コンピュータ断層撮影）X線を利用して身体の内部（断面）を画像化する。画像処理を行うことにより、身体の細かな情報を得ることが可能となる。
〃	ERCP	Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography（内視鏡的逆行性膵胆管造影）。精密検査の目的で、内視鏡を使って胆管や膵管などを造影する手技。内視鏡は口から入れて食道・胃を通り十二指腸まで進めた後、胆管や膵管に直接細いチューブ（カニューラ）を介して造影剤を注入し、胆嚢・胆管・膵管を造影する。しばしば、検査だけでなく付随して行われる処置・治療（例：胆管結石の除去）も含めてERCPと呼ばれる。
〃	十二指腸内視鏡	上部消化管内視鏡・通称「胃カメラ」。経口または経鼻で体内に挿入し、口・食道・胃・十二指腸に到達する。内部に備えているカメラや処置具を使って必要な検査・処置を行うことができる。

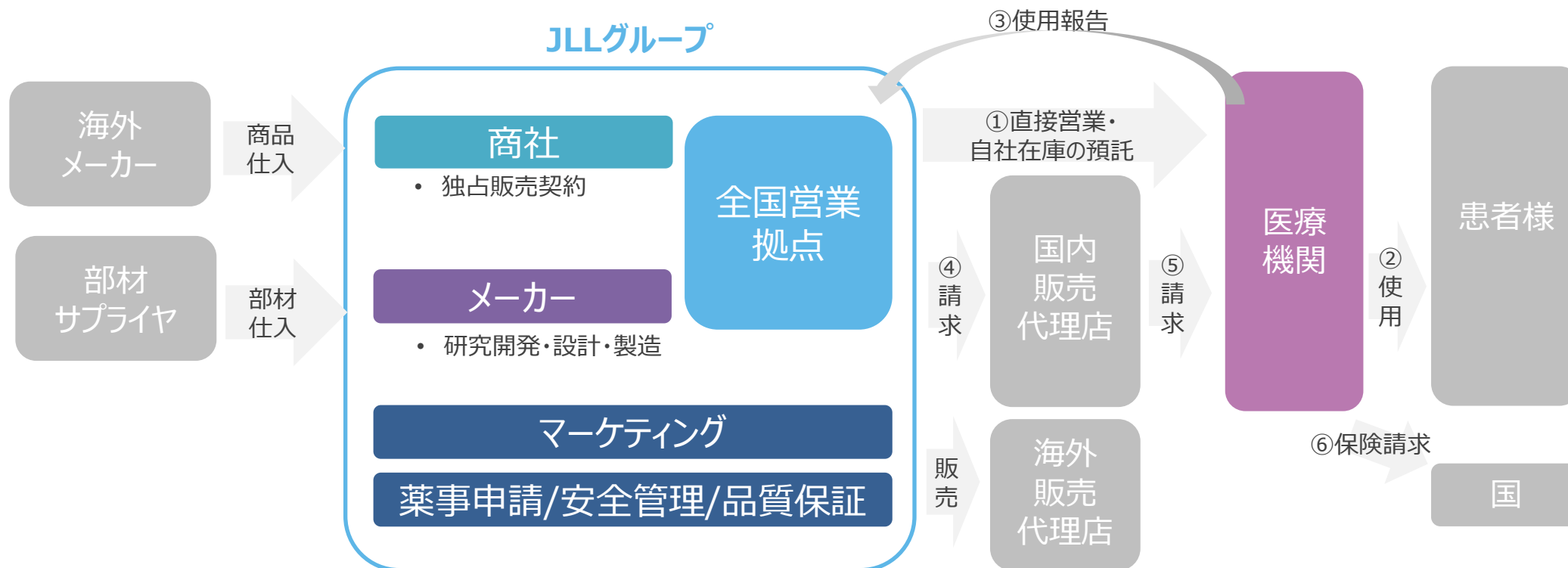
商 号	日本ライフライン株式会社
代 表 者	代表取締役社長 鈴木啓介
本 社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲オーシャンスクエア
設 立	1981年2月6日
上 場 市 場	東京証券取引所 プライム市場
証 券 コ ー ド	7575
事 業 内 容	医療用機器の製造、販売、輸出および輸入販売
資 本 金	2,115百万円
決 算 期	3月31日
従 業 員 数	連結1,205名/単体981名（2022年9月30日 現在）
事 業 所	営業拠点48ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、関西ロジスティックスセンター、 研究開発統括部、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市原ファクトリー、 天王洲ACCADEMIA（研修センター）（2022年9月30日 現在）
連 結 子 会 社	SYNEXMED (HONGKONG) LTD.、心宜医疗器械（深圳）有限公司 JLL MALAYSIA SDN. BHD.

✓ 複数のオンリーワン自社製品の発売で、過去10年で売上高CAGR8% (営業利益CAGRは24%)を達成

(単位:億円)

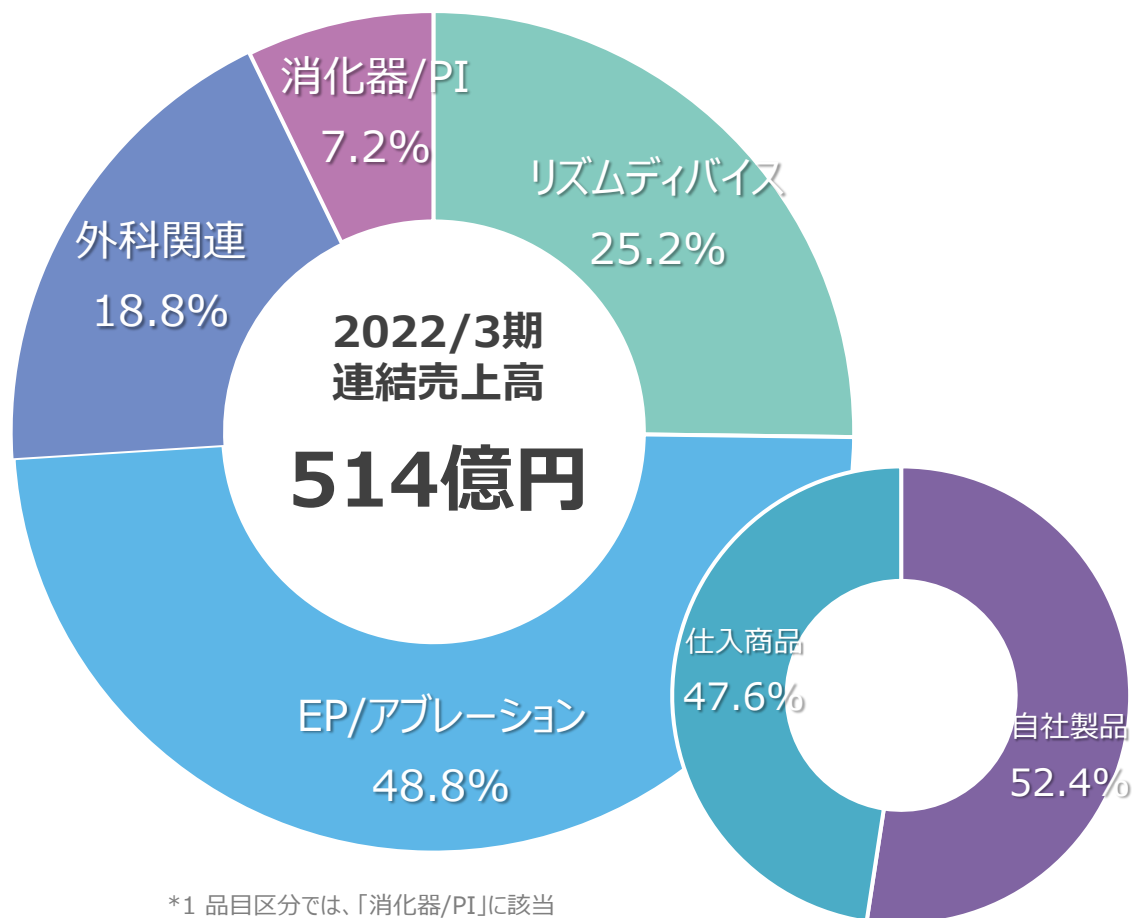


- ✓ 商社とメーカーのハイブリッド型ビジネスモデル
- ✓ 全国規模の販売力と医療機器を市場流通させるために必要な**薬事機能**などを自社で完備
- ✓ 当社セールスは、エンドユーザである**医療機関(医師)**に**直接営業**
- ✓ 医療機関に滅菌期限(使用期限)のある**自社在庫を預託***1。手術の使用で当社は売上を認識



*1 預託販売は当社の主要な販売形態です。医療機関や代理店が買い取りすることもあります。輸出についても、海外代理店が当社の在庫を買い取ります

- ✓ メインの疾患領域は**心臓血管領域**であり、4つの品目区分に分類
- ✓ 今後は、**消化器領域***1と**脳血管領域***2にも本格参入し、疾患領域を強化・拡充



リズムデバイス	✓ 不整脈を治療する体内植込み型の医療機器 ✓ 自社比率0% (BSJ社*3と長期独占販売契約)
EP/アブレーション	✓ 不整脈の検査や治療をする使い捨ての細い管状（カテーテル）の医療機器 ✓ 自社比率80%
外科関連	✓ 本来の機能が失われた血管を人工の器官に置き換え、治療するための医療機器 ✓ 自社比率60% ✓ 脳血管領域に新規参入（仕入商品）
消化器/PI*4	✓ 肝臓や大腸などの消化器疾患を治療する医療機器 ✓ 自社比率40%*5 ✓ 胆膵内視鏡分野に新規参入（自社製品）

*1 品目区分では、「消化器/PI」に該当

*2 品目区分では、「外科関連」に該当

*3 Boston Scientific Japan社（Boston Scientific Corporation（米）の日本子会社）

*4 PI = Percutaneous Intervention（経皮的インターベンション）心筋梗塞などの虚血性心疾患を、カテーテルを用いて低侵襲に治療する方法。ガイドワイヤー、バルーンカテーテル、薬剤溶出型冠動脈ステントなどを含む

*5 PIは仕入商品を多く含むため、消化器/PI全体では自社比率40%。消化器のみでは自社比率100%。PIは今後縮小の傾向

✓ 不整脈(心臓の拍動が遅くなる、または早くなる疾患)を治療する体内植込み型の医療機器

ペースメーカー関連

心臓ペースメーカー

商品名 : Accolade (Boston Scientific社製)



心臓の拍動が遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

保険償還価格*1

シングルチャンバ 454,000円

デュアルチャンバ 593,000円

CRT-P (両心室心臓ペースメーカー)

商品名 : Visionist X4 (Boston Scientific社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与える、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。

保険償還価格

1,290,000円

I C D 関連

T-ICD (経静脈植込型除細動器)

商品名 : Resonate (Boston Scientific社製)



心臓の拍動が早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与え、拍動を正常な状態に戻します。

保険償還価格

シングルチャンバ 2,730,000円

デュアルチャンバ 2,820,000円

S-ICD (完全皮下植込型除細動器)

商品名 : Emblem MRI (Boston Scientific社製)



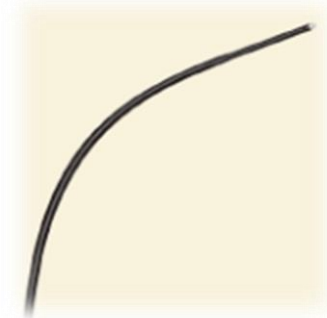
T-ICDは静脈を介し心臓内にリードを留置しますが、S-ICDは全ての機器を皮下に植込み血管内や心臓へ異物留置がありません。

保険償還価格

3,120,000円

*1 保険償還価格は2022年4月1日現在

✓ 不整脈の検査や治療を行う、ディスポーザブルの電極付カテーテルなどの医療機器

E P カテーテル関連		A B L カテーテル関連		その他
EP（電気生理用）カテーテル 製品名：EP Star, Libero, Snake, Esophastar（自社製品）  不整脈の診断や治療方法の適応を判断する検査に用います。カテーテル先端の電極で、心臓内電位を測定したり、不整脈を誘発させて原因を特定します。 保険償還価格*1 標準型（電極数3～5） 46,800円 温度センサ付（エソファスター）85,400円	心腔内除細動カテーテル 製品名：BeeAT（自社製品）  アブレーション治療時に発生する心房内細動に対し、心腔内で除細動を行うことで、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。 保険償還価格 214,000円	アブレーションカテーテル 製品名：Ablaze（自社製品）  頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることで治療します。 保険償還価格 通常型 117,000円	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル 商品名：HeartLight X3（Cardio Focus社製）  バルーン内部からレーザーを照射し、頻脈の原因となる部位を焼き切り治療します。カテーテル内部の内視鏡で、正確な留置・焼灼が可能です。 保険償還価格 505,000円	高周波心房中隔穿刺針 商品名：RF Needle（Baylis Medical社製）  アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。 保険償還価格 54,100円

*1 保険償還価格は2022年4月1日現在

✓ 本来の機能が失われた血管を人工の器官に置き換え、治療するための医療機器

人工血管関連			その他												
人工血管 製品名：J Graft（自社製品）  開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。 保険償還価格*1 <table><tr><td>分岐なし（ストレート）</td><td>117,000円</td></tr><tr><td>1分岐（T字）</td><td>179,000円</td></tr><tr><td>2分岐以上（4分岐）</td><td>245,000円</td></tr></table>	分岐なし（ストレート）	117,000円	1分岐（T字）	179,000円	2分岐以上（4分岐）	245,000円	（腹部用）ステントグラフト 商品名：AFX2, Alto（Endologix社製）  外科手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。 保険償還価格 <table><tr><td>標準型（AFX）</td><td>1,320,000円</td></tr><tr><td>ポリマー充填型（Alto）</td><td>1,430,000円</td></tr></table>	標準型（AFX）	1,320,000円	ポリマー充填型（Alto）	1,430,000円	オープンステントグラフト 製品名：Frozenix（自社製品）  大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。 保険償還価格 <table><tr><td>1,110,000円</td></tr></table>	1,110,000円	塞栓用コイル 商品名：Avenir（Wallaby Medical社製）  脳動脈瘤内に塞栓用コイルを留置することで血液の流入を遮断し、瘤の破裂（くも膜下出血）を防ぎます。 保険償還価格 <table><tr><td>95,600円</td></tr></table>	95,600円
分岐なし（ストレート）	117,000円														
1分岐（T字）	179,000円														
2分岐以上（4分岐）	245,000円														
標準型（AFX）	1,320,000円														
ポリマー充填型（Alto）	1,430,000円														
1,110,000円															
95,600円															

*1 保険償還価格は2022年4月1日現在

- ✓ 消化器：肝臓や大腸などの消化器疾患を治療する医療機器
- ✓ PI関連：冠動脈の詰まりによって発生する心筋梗塞などの疾患を治療する医療機器

消化器関連

大腸用ステント

製品名：Jentlly（自社製品）



癌により閉塞した大腸を押し広げるために用います。細いガイドワイヤーで閉塞部を通過させた後、これに沿ってステントを展開します。

保険償還価格*1

216,000円

肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針

製品名：arfa（自社製品）



超音波(エコー)やCTで観察しながら針状の電極を経皮的に肝癌の病変組織へ挿入し、電極周囲にラジオ波による熱を発生させ病変を焼灼し治療します。

保険償還価格

なし。保険区分A2(特定包括)で特定の診療報酬項目において包括的に評価される。

胆管チューブステント

製品名：Regulus（自社製品）



胆管が胆石や腫瘍などの圧迫によって狭くなった箇所にステントを留置し広げること、胆汁の流れを改善して治療します。

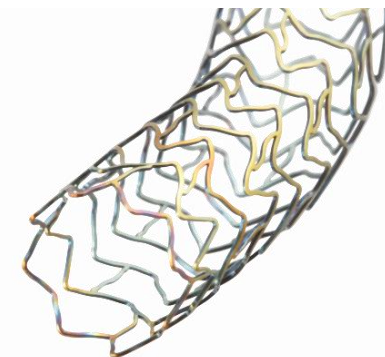
保険償還価格

45,600円

P I 関連

薬剤溶出型冠動脈ステント

商品名：Orsiro（Biotronik社製）



血管の詰まった部分を風船(バルーン)で拡張させた後に留置し、再び詰まるのを防ぎます。また塗布された薬剤も再発防止に効果があります。

保険償還価格

136,000円

*1 保険償還価格は2022年4月1日現在

✓ 国内 4 拠点、海外 2 拠点の体制でメーカー機能を支える

研究開発

研究開発統括部 (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park North Square



2018/4～

中核工場

戸田ファクトリー (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park South Square



2012/1～

量産・滅菌工場

小山ファクトリー (栃木県小山市)



2014/10～

血管製品の開発・生産

市原ファクトリー (千葉県市原市)



2011/1～

海外工場 ①

深圳工場 (中国深圳市) JLL Shenzhen Co., Ltd.



2010/10～

海外工場 ②

マレーシア工場 (マレーシアペナン州) JLL Malaysia Sdn.Bhd.



2020/6～

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営企画部

TEL:03-6711-5214

E-Mail:ir@jll.co.jp

URL:<https://www.jll.co.jp>